外来抗菌薬（膀胱炎）

初期治療
Empiric　Therapy

成人の場合

膀胱炎

女性の場合

推奨薬：
・セファクロル
・セファレキシン
・ST合剤

妊婦の場合

推奨薬：
・セファクロル
・セファレキシン

男性

推奨薬：
・セファクロル
・セファレキシン
・ST合剤

推奨投与量（CCr≧50）

- ST合剤：バクタ配合錠 4錠 分2　3日間　※妊婦×
- セファレキシン：ケフレックス 250mg 6錠 分3　7日間
- セファクロル：ケフラール250mg 6錠 分3 7日間

腎障害の場合は3ページ目参照

感染対策委員会

外来抗菌薬（腎盂腎炎）

初期治療
Empiric　Therapy

成人の場合

腎盂腎炎

中等症以上では入院加療を考慮

単純性[1]

受診時にセフトリアキソン1回2g投与

推奨薬：
・ST合剤
・アモキシシリン・クラブラン酸
・セファクロル
・セファレキシン

複雑性

受診時にセフトリアキソン1回2g投与

推奨薬：
・ST合剤
・アモキシシリン・クラブラン酸
代替薬：
・レボフロキサシン[2]

推奨投与量（CCr≧50）

- ST合剤：バクタ配合錠 4錠 分2　※妊婦×
- アモキシシリン・クラブラン酸：オーグメンチン250mg錠 3錠 分3+サワシリンカプセル250mg 3錠 分3
- セファレキシン：ケフレックス 250mg 6錠 分3
- セファクロル：ケフラール250mg 6錠 分3
- レボフロキサシン：クラビット500mg錠 1錠 分1

[1] 単純性；妊娠していない閉経前女性
[2] 大腸菌の3割～4割程度はキノロン系耐性であることに留意する。
治療期間は10－14日間

腎障害の場合は3ページ目参照

感染対策委員会

表2. 腎機能に応じた投与量の調整

商品名	規格	用法用量	クレアチニンクリアランス（Ccr）		
			50≦Ccr	10≦Ccr＜50	Ccr＜10
アモキシシリン＼クラブラン酸	250 mg	1回量	1錠	1錠	1錠
		1日回数	3回	2回	1回
アモキシシリン	250 mg	1回量	1カプセル	1カプセル	1カプセル
		1日回数	3回	2回	1回
スルタミシリン	375 mg	1回量	1錠	1錠	1錠
		1日回数	3回	2回	1回
セファレキシン	250 mg	1回量	1カプセル	1カプセル	1カプセル
		1日回数	4回	4回	2回
セファクロル	250 mg	1回量	1カプセル	1カプセル	1カプセル
		1日回数	3回	3回	2回
クラリスロマイシン	200 mg	1回量	1錠	1錠	1錠
		1日回数	2回	2回	2回
アジスロマイシン	250 mg	1回量	2錠	2錠	2錠
		1日回数	1回	1回	1回
ガレノキサシン	200 mg	1回量	2錠	Ccr＜30かつ体重が40kg未満であれば 1回1錠に減量	
		1日回数	1回		
レボフロキサシン	500 mg	1回量	1錠	20≦Ccr＜50：初日1錠、2日目以降0.5錠 Ccr＜20：初日1錠、2日目スキップ、3日目以降2日おきに0.5錠	
		1日回数	1回		
ホスホマイシン	500 mg	1回量	2錠	2錠	2錠
		1日回数	3回	3回	2回

表1. 抗菌薬の用法用量など一覧（腎機能正常時）

一般名	規格	商品名（後発品）	商品名（先発品）	用法用量	後発品のコスト（円／日）	先発品のコスト（円／日）
アモキシシリン＼クラブラン酸	250mg	—	オーグメンチン錠	1回1錠 1日3回	—	137.1
アモキシシリン	250mg	アモキシシリンカプセル	サワシリンカプセル	1回1カプセル 1日3回	30.3	31.5
スルタミシリン	375mg	—	ユナシン錠	1回1錠 1日3回	—	180.0
セファレキシン	250mg	セファレキシンカプセル	ケフレックスカプセル	1回1カプセル 1日4回	126.0	126.0
セファクロル	250mg	セファクロルカプセル	ケフラールカプセル	1回1カプセル 1日3回	164.1	164.1
クラリスロマイシン	200mg	クラリスロマイシン錠	クラリシッド錠	1回1錠 1日2回	41.4	87.0
アジスロマイシン	250mg	アジスロマイシン錠	ジスロマック錠	1回2錠 1日1回	138.2	411.2
ガレノキサシン	200mg	—	ジェニナック錠	1回2錠 1日1回	—	411.4
レボフロキサシン	500mg	レボフロキサシン錠	クラビット錠	1回1錠 1日1回	87.2	199.8
ホスホマイシン	500mg	ホスホマイシンカルシウムカプセル	ホスミシン錠	1回2錠 1日3回	384.6	384.6